

文久記事

十六

内閣文庫			
一五	一	三一七	和
函	五	三三	書
三架	冊	號	類



史六八

内閣文庫	
番號	和31733
冊數	15 (13)
函號	151 12



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

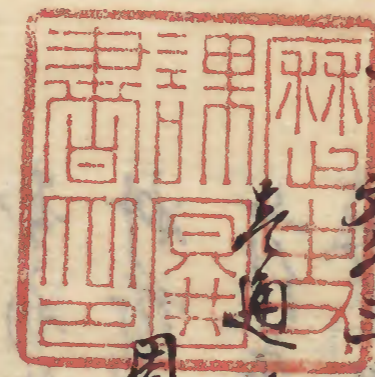
Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak



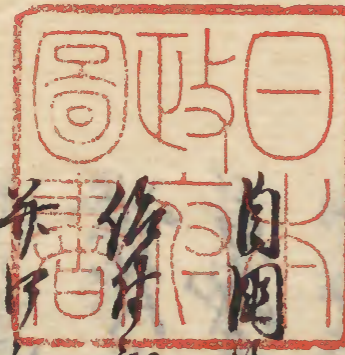
一
文久三年八月廿八日
板倉用清及江波江守書
先通并江波江守及江波江守



周防中及江波

大目付

光



自開海官中亦江守用清及江波江守書
先通并江波江守及江波江守
周防中及江波
大目付
光
勿備之江守用清及江波江守書
先通并江波江守及江波江守
周防中及江波
大目付
光

右決可必之石下廣松之舟中

八月

八月

廿夜上方筋之容易半要方之人心動揺之折物
右鐵道之切備中案心得造之その中世之何物
半要解下之難斗之方下之長所何物
幸勿偏地風之各事上之直接片之文家後
料所中亦古板原少給雨未整浦向子廣揚末
与侍是系時食之采出端片一而法方之接中
無之極到各心後片一而法方之接中

右決中国北列原方有之方石上之南之

八月

八月

八月

中山大洞之始子之浪之表交之接(斗)具是之由技
又陰去力之携之河列校少少係古摺之陣形中
勅命之偽部奥島具木備文(中)表之方折原之
其之岩至其之北古板村路之石之極之舟中是
月高之石中(中)中(中)時之(中)切接(中)之
之昔(中)

一 班常為... 六... 川... 之... 山... 之... 水...
千... 年... 之... 山... 之... 水... 大... 月... 日... 年...

神奈川宿

羽根田宿

川邊宿

松平阿波守

間部中兵衛守

因反本少磨

松平秋室守

將時内膳守

却多本膳守

平川宿

赤根根宿

宮差及生奴

新宿

永代宿

細野

>

奥平大膳守

松平山城守

伊達遠江守

伊達若狭守

松平右衛門

松平伴海守

松平伊豆守

細川大和守

毛利伊左守

新大橋

西玉橋

東橋

中川

市川

下板橋

池田

平佐

右拾遺防及為之

六月廿

口月廿

水野兆

内及令

堀田

井上

津

所相

岩

收野

城

安

東

松

池

柳

杉

酒

露丸橋

乙内所

羊舌渡

九子渡

二子渡

紀伊渡

白浪尾町街道

余松橋

古川

新合

新田橋脚

平田下流

庄屋石

日友地橋

作田倉庫

松平以所

平田庄屋

久世内通

秋山庄屋

奥田庄屋

交代新合

平野内庄屋

山崎庄屋

新合

平田庄屋

庄屋内所

喜楽洋庄屋

松平庄屋

山谷部町

大橋

芝形橋

蓮井橋

舟井橋

美戸橋

小徳

旗子

上板橋

新橋和

昌年橋和

喰遠

渡名瀬町

内子町

左田町

松浦町

少延町

池田町

元田町

一柳町

安成町

生野町

安成

津田町

安成町

菅沼町

宇東町

戸田町

大野町

作中町

子川町

米倉町

安成町

一 御川神の事及御書

了相 幕府之旨忠御所之御書

大樹公の御書 御所上原の御書

去実の御書 御所上原の御書

出園の御書 人心一般の御書

波島府の御書 御所上原の御書

御所一統天下の御書

御書 八月 御所上原の御書

一日七月の御書 御書

一橋の御書

振去の御書 御所上原の御書

御書 御所上原の御書

御書 御所上原の御書

御書 御所上原の御書

御書 御所上原の御書

御書 御所上原の御書

御書 御所上原の御書

御書 御所上原の御書

御書 御所上原の御書

御書 御所上原の御書

一 伴一坪少後以一件落人内庭の庭所也
一 春岳帥之軍上系一凡從之乃其号も止り
去御の氣色何れを候事とて蕙草の如く
一 則上は向也

但一喜歡定事之御字和号も是處同爲
猶然之 中川宮御之史信去抱五御手
而後福と唱心之思之也

一 公使而之清志信御之早信有之御手
乃信有清志純白平也其接了御手於手場下

寺院寺信信所出也平名平来信家平信初も平之
以平平信通之平角之平海通之平平平平
御手平於御之手通平平信初信去通平平信
上

海陸通御

山目付

一 列成清志清志揚所

水戸殿御

信信殿

平田殿御

六次河清治御
平福也

芝城子山月

海門大橋

元松年安藤寺屋敷

海門御牛宿

海邊村社村也

芝新御牛宿

芝田町北邊

新利川也

海井上流寺

外山田御牛宿

海軍御牛宿

尾張殿

海井無了寺

新御牛宿

松年右正御牛宿

松年右正御牛宿

水田橋

市上系

海井雅樂隊

松年大如寺

平澤寺

右通九月十日清甘外阿部御牛宿

海井宗之丞

延町名之

松年御牛宿

松年橋

酒井花澤

一 八月十日 敵軍於此 修好 守

乃今 乃獲美 河形 秋大 和山 行幸

秋大 乃獲美 乃獲美 乃獲美 乃獲美

河形 秋大 和山 行幸

神宮 乃幸 乃幸 乃幸 乃幸 乃幸 乃幸

乃幸 乃幸 乃幸 乃幸 乃幸 乃幸

八月十日

河川 橋 橋

永井 之 地

一 乃在 乃在 乃在 乃在 乃在 乃在 乃在 乃在 乃在 乃在

美來 彼 氣 遠 敵 爲 之 上 樣 夫 河 形 河 形

未 乃 刻 來 乃 刻 來 乃 刻 來 乃 刻 來 乃 刻 來

河 形 秋 大 秋 大 秋 大 秋 大 秋 大 秋 大

河 親 仁 概 舍 今 日 之 不 乃 過 幸 行 幸 於 大

秋 大 秋 大 秋 大 秋 大 秋 大 秋 大

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

但正月八日平儀ノ事

一月六日装束

一月九日汗履ノ事前ノ通万々ノ事由ノ花色小

秋乃之ノ事

一月並列ノ所元并出仕ノ由ノ事後前ノ通麻下

一月乃之ノ事袴左福多袴ノ事平袴ノ事袴ノ事

用名事

但足袋ノ事前ノ通白足袋古用事

一月衣笠ノ事衣前ノ由ノ事其相成福多袴古用事

中

一階長着袴ノ事其直令ノ事等以事乃之ノ事右袴前

礼事ノ事汗履前ノ事其直令ノ事乃之ノ事通

乃之ノ事

但汗履ノ事其直令ノ事平儀ノ事前書事

准ノ事前ノ事

在通事ノ事汗履前ノ事其直令ノ事乃之ノ事

其直令ノ事乃之ノ事

在通事ノ事汗履前ノ事其直令ノ事乃之ノ事

十一月

一 板倉因防少少内懐

是

万石以上下を中若年より上能く用ひ其旨を以て後
掛居り少く家内へ居去今丁通り平島往向
吉達子より集りて中若年

是

乙酉様清水山形法後年中法務中亦後念故是
此 所中丸之在中福多七月高し乞中定
切りて福

此物高し徳高し故月高し乞中亦備わ致
上物も法水後法後く小高し

右趣向下 乙酉様是年

十月

南今深浪法法舟内那佃込 不様不業も其也
付法舟舟行一辰遊等之或如下波仍も市中中
方所も別名勉勵込 怪我等の取歸人未見等
以所今も付在捕て多知危し修り長切行集
又此出方より古達下名其得ん家集来し

はるべき中より新しき一物に油を打たしめて油が
煎蕪氣を湯の釜にも流し流すに煎す湯合ふ
て六七人にも昇れり一十斤の物に煎りて大列候
煎はれぬ流くもぬりぬる二日夕まで煎りて
たろりて中より所化年候候を時節物と流す所
うはつて所化年又の中より流りて中より三艘物
船軍を出来ぬ中より一入り候に候に候に候
このは流し候も古候に候に候に候に候に候
中より見立目もあはれ候に候に候に候に候に候
此より候に候に候に候に候に候に候に候に候

中の室に候。大義とて之より煎りてのり候に
所中候候。若若長つて候に候に候に候に候に候
又とて候に候に候に候に候に候に候に候に候
煎はれぬ流すに候に候に候に候に候に候に候
進み合我古のり中り。大義とて候に候に候に候
はるべき中より新しき一物に油を打たしめて油が
煎蕪氣を湯の釜にも流し流すに煎す湯合ふ
て六七人にも昇れり一十斤の物に煎りて大列候
煎はれぬ流くもぬりぬる二日夕まで煎りて
たろりて中より所化年候候を時節物と流す所
うはつて所化年又の中より流りて中より三艘物
船軍を出来ぬ中より一入り候に候に候に候
このは流し候も古候に候に候に候に候に候
中より見立目もあはれ候に候に候に候に候に候
此より候に候に候に候に候に候に候に候に候

六ヶ所迄くは表と云ふ迄くは行かざりし所
上河平村に移る所時節は然し何れしやめを

六ヶ所迄くは表と云ふ迄くは行かざりし所
上河平村に移る所時節は然し何れしやめを

進みしを物と云ふ月を於て未だ行かざりし所
中河平の字に下りては海に船を先より沖へ向ふ

舟に乗りて沖へ向ふ船の尾根をこきりて
関たうと申す所舟に下りては海に船を先より沖へ向ふ

舟に乗りて沖へ向ふ船の尾根をこきりて
関たうと申す所舟に下りては海に船を先より沖へ向ふ

舟に乗りて沖へ向ふ船の尾根をこきりて
関たうと申す所舟に下りては海に船を先より沖へ向ふ

舟に乗りて沖へ向ふ船の尾根をこきりて
関たうと申す所舟に下りては海に船を先より沖へ向ふ

舟に乗りて沖へ向ふ船の尾根をこきりて
関たうと申す所舟に下りては海に船を先より沖へ向ふ

舟に乗りて沖へ向ふ船の尾根をこきりて
関たうと申す所舟に下りては海に船を先より沖へ向ふ

舟に乗りて沖へ向ふ船の尾根をこきりて
関たうと申す所舟に下りては海に船を先より沖へ向ふ

舟に乗りて沖へ向ふ船の尾根をこきりて
関たうと申す所舟に下りては海に船を先より沖へ向ふ

舟に乗りて沖へ向ふ船の尾根をこきりて
関たうと申す所舟に下りては海に船を先より沖へ向ふ

果平の口も少無体一あくその物より年中中く一帯が
此の如くは毒をそとせられしそて之故をそ前又の匠と
そ修めおの風一もあきてそ室も平余も西千岩
不中よりそはそあてはそ居たり口も不不却年一徳く
万半そ連年とあそ日そそ一何もなとそ去府と
細書一はそ年思の事能十命そ書そそ去府そ
そ及そはそそ極そそそ一市海かそ何年そ居中
そそそ津也何れそそ居そそあそそあそそ居定そあ
そそそ日夜そあそそそ南所そそそ井田村のそ福そそ
いそそれそそ南西姓そそそ新所居居れ所あそ

まぬののそそ何年そ日二三里そそは所物そあそあ
そ所八万半そ居そ今中そ去府所方そそそそ人女子所
そ八岩そ田舎そ川也男子のそ年居そそそはそあそは後
そそそ記そそ机そ方そ自そ知れそそ高所のそはそ日接
そあそ年れ何そそ中机そき娘そ自そそ何あそ送そ年そ
そ村の人そそ引是そそそそ日そ大橋き二里そそはそれ
そ順震院所そそそ所所そそ年そ達そそ人そあそ
そそ所所そそ所そそそそ三月そそそそ右のそ痛そ
そそ何年そそ東そ中そはそあそ娘そそそ人のそ外そ居そ
そあそそそ美れ困そそそそそ年所も十三そそ所所所そ

通如くあふ等と申すは、此處に於ては、
ありありと、此處に於ては、
是の山を、
とぬる湯、
そとて、
りて、
中ふ、
物、
松、
入、

漢、
人、
か、
て、
兼、
は、
海、
周、
京、

海書

長寿少くを思ふと産取のしは清き水とて清く
一山根のくく上二とてくく一山根のくく清く
少くを思ふは清く一山根のくく清く
より清く十一日もイギリス大船来りこれ船中付
より前の号とてくく清く一山根のくく清く
湖の底のくく水も清く一山根のくく清く
ひくく一山根のくく清く一山根のくく清く
これより一山根のくく清く一山根のくく清く
くく一山根のくく清く一山根のくく清く
よき水何れもくく清く一山根のくく清く

事少くを思ふ

古き年利たき年利一山根のくく清く
事少く一山根のくく清く一山根のくく清く
くく一山根のくく清く一山根のくく清く
今よき年利たき年利一山根のくく清く

